

新しく生まれ変わりました！



2017年4月1日、昭和音楽大学附属図書館が新しく生まれ変わりました！閲覧室はレイアウトを大きく変更し、座席数はそのままで避難経路を複数確保しつつ、開放感あふれる空間になりました。ブラウジングコーナー、グループエリアは机やイスを入れ替え、ラーニングコモンズ※としての役割を担う場所へと様変わりしました。また、全館 Wi-Fi を使うことができます。

〔閲覧室〕



レイアウト変更前



レイアウト変更後

閲覧室は、什器の位置を90度転換することで、今までよりも広く感じるレイアウトにしました。また、OPACやデータベースの端末を壁側に寄せることで、ブラインドを全て開けることができるようになり、館内が明るくなりました。

今までOPACがあった場所にはカウンター席を9席設置しました。中庭を見ながら読書を楽しんだり、スマートフォンで音楽を聴きながらレポートを書いたりするのに最適な場所です。個人キャレルでは、机に電源があるので、自分のノートPCを持ち込んで勉強することができます。

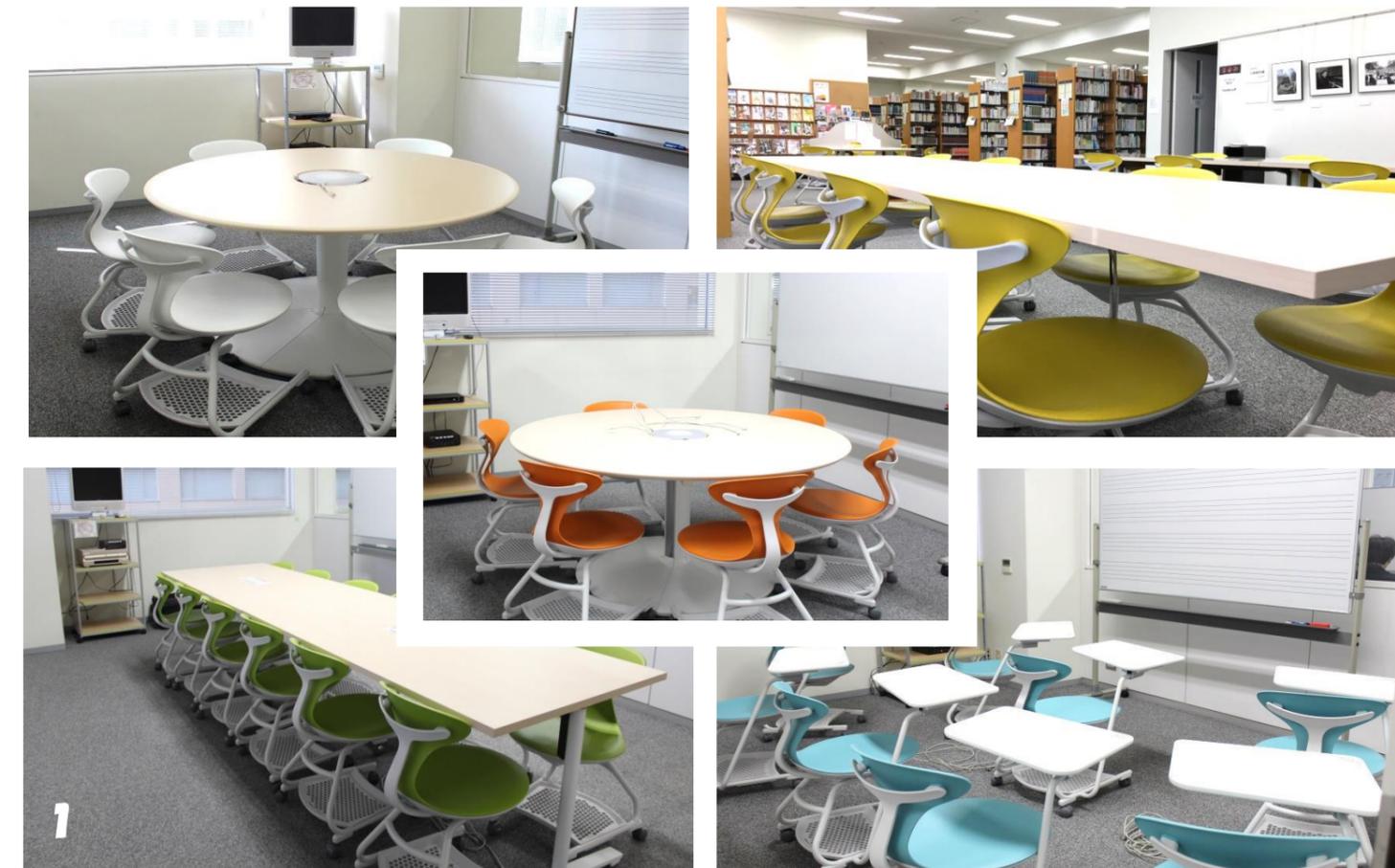


カウンター席

※ラーニングコモンズとは・・・

学生の学習支援を意図して大学図書館に設けられた場所や施設。具体的には、情報通信環境が整い、自習やグループ学習用の家具や設備が用意され、相談係がいる開放的な学習空間をいう

「Web版図書館情報学用語辞典の解説」より



OPACは今まで立ったまま利用するスタイルにしていたましたが、8台中5台については、イスを用意しました。座れることで、幅広い年齢層の利用者のみなさまに、じっくり資料を検索できる環境を整えました。



OPAC席



書見席（洋書用）

洋書文献をよく使う大学院生や教員用に、洋書の書架近くに書見席を1席、設けました。これまでのように重たい洋書を数冊持って閲覧室を行ったり来たりすることが少なくなるはずです。そのまま学修机としても利用することができます。

〔ラーニングcommons〕（学生・教職員のみ利用可。1回90分）

（ブラウジングコーナー、グループエリア4室、セミナールーム1室）

ラーニングcommonsは、利用する用途によって色分けされています。

ブラウジングコーナーは、黄色のイスが特徴です。雑誌や新聞の閲覧に加え、図書館で貸出をしているノートPCを使うことができます。閲覧兼ノートPC用の座席は16席あります。4月以降、リピーターの多い、明るく落ち着いた場所です。



閲覧兼ノートPC用の席

グループエリア（4室）、セミナールーム（1室）は、視聴覚資料を使いながらディスカッションやプレゼンテーションの練習ができる部屋になっています。ペットボトル、タンブラー、水筒に入った飲み物は持ち込んで飲むことができます。



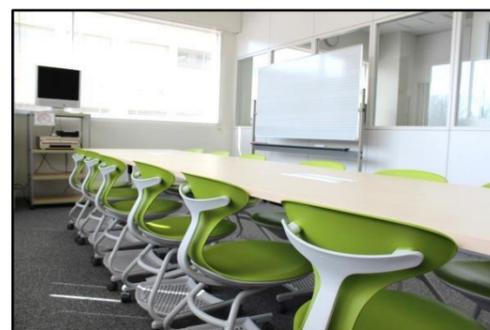
B081（グループエリア1：6名）は、白いイスと小さ目の丸いテーブルが特徴です。少人数でグループディスカッションをするには最適な部屋です。



B082（グループエリア2：6名）は、オレンジのイスと大き目の丸いテーブルが特徴です。B081よりたくさんの資料を持ち込んで、グループディスカッションをすることができます。



B083（グループエリア3：8名）はテーブルが一体化しているブルーのイスが特徴です。授業でのプレゼンを想定した練習ができる部屋です。



B084（グループエリア4：12名）はグリーンのイスが特徴です。ガイダンスや少人数での講座等を実施するのに適した部屋です。毎年図書館主催のガイダンス等を行っています。



B014（セミナールーム：24名）は大人数でのプレゼンやグループディスカッションができる部屋です。5つの部屋のなかで唯一ヘッドホーンなしで視聴覚資料が利用できます。